

8 福井市地区障がい相談支援事業所ほくとう事業報告

<相談支援業務>

相談支援	当事者、家族、民生委員、学校、病院、福祉の関係機関、行政等からの相談に応じ、また繋いだり、連携をする。とにかく話を聞く。本人が中心になるように支援を考え、組み立てることに重点を置く。また継続することが大切と考える。
潜在的な支援	民生委員からの相談は、話を聞くことによって、民生委員の気持ちを楽しめるように考える。訪問を依頼されれば訪問をし、本人の話を聞く。民生委員に相談された方の話も聞く。情報が入ったら、動くことに重点を置く。
相談支援事業所の周知	各民児協定例会に、2回/年以上参加した。福祉祭りには1か所参加した。 関係機関の周知は、当事業所だけではなく色々な所から周知されることもあって浸透してきていると感じる。一般市民に対しての周知方法を考える必要がある。公民館回覧板については、市に確認をしたら、行政の広報以外は認めないと言われた。公民館館長判断でされているところもあるようである。次年度の取組である。
地域住民が相談できる機会の拡大	福祉祭りの場で相談を受けるのは難しいと感じた。それよりも、パネルに情報を貼りだして、気軽に見られるようにした方が良いのではないかと今は考えている。連絡先を見て連絡をしてくる可能性もあると考える。あるいは、その場にいる時間帯と、いない時間帯を作ってみたらどうかとも考える。次年度に試してみる。
地域の社会資源の把握と活用	新しい社会資源の把握はしていない。生活保護の方の住居探しや引越に関しては、決まった不動産や便利屋を利用して助かっている。 岡保未来づくり協議会に参加する機会があり、地域共生を考える場があることを知った。また、地域に密着した介護保険施設を知り、行ってみたいと考えている。

<地域の関係機関とのネットワークの構築>

関係機関との連携強化	ケースを通しての連携が、連携強化につながる。連絡を待っているのではなく、自分から連絡することで、迅速に情報交換、情報共有ができ、支援の方法を考え、取り組むことができる。それぞれの機関の強みを生かした支援を組み立てることによって、可能性が広がる。
特定相談支援事業所への支援	家族支援が必要なケースであったり、家族全員に障がいがあったり、対応が困難なケースで、地区委託相談から特定相談に繋げたケースは継続して関わっている。 相談員の変更の相談が、家族や当事者からもあるが、特定相談支援事業所からもある。対応が難しいケースに関して同行を求められたり、会議参加を求められたりする。速やかに対応している。

<地域移行・地域定着促進の取組>

情報収集	一人暮らしを始めるためのアパート探しや生活するための準備は地域福祉課の情報も取り入れて行なった。 病院や地域包括支援センターからの相談はあったが、ほとんどが入所支援であった。
地域定着した障がい者の支援	虐待ケースで、基幹相談支援センター、一般相談支援事業所、特定相談支援事業所、地域福祉課、障がい福祉課、病院等と連携している。 退院して1年9か月経過するが、お金の使い方や親族関係に課題があるので、特定相談と訪問を継続している。 退院をすると受診をしなくなる方には入院中に数回面談をし、退院してからは短い周期で訪問をし、関係づくりをしている。

<権利擁護業務>

虐待防止のための周知	虐待防止支援センターのチラシを利用して、周知を行っている。特に民児協定例会で行っている。 次年度には、公民館とその回覧板を活用することを考えている。
虐待防止のための支援	受診を中断されている方や受診をしたことがない方が両親に対して、威圧、暴言、暴力がある相談は、警察に通報して、措置にならない場合は医療保護になるよう伝えることを勧めている。養護者の虐待よりは、当事者の高齢者に対する威嚇、暴言、暴力の相談がある。
利用の支援	成年後見制度利用援助はしていない。話し合いの中で、成年後見制度が必要になってくる話で終わっている。

<自立支援協議会の運営への参画>

<p>運営会議に参加して、積極的に意見を出した。委託ミーティングにおいても積極的に意見を出した。就労支援部会の事務局として、部会の運営と課題解決に取り組んだ。サービス事業所毎の意見交換会からの課題の抽出は、現場と現状に即したものであった。就労支援ガイドブックの発行、合同説明会の開催、雇用推進セミナーでの講演と課題解決のための取組ができた。部会構成員の良さもあるが、部会でも活発に意見交換ができた。</p>

<その他取組>

<p>自らの取組ではないが、障がいに対して積極的ではなかった民児協から、次年度も事例を話して欲しいと依頼があり、家族会からも定期的に参加して相談に乗って欲しいと言う依頼が入るようになった。積極的に参加することにする。 福井市社会福祉協議会からの誘いで岡保未来づくり協議会に参加することができた。</p>
<p>「人口減少対策・やさしいまち作戦会議」と銘打った先進的な会議であった。地域共生についても考え、「お隣さん」を取り戻す意見もあった。次年度以降はこれに関する取り組みができないか検討していきたい。</p>